

## 本年度の取組み状況

### 1. 本年度の取り組み

本年度は、当初予定していた以下の3地域のうち、南大泉地域、関町ルート（武蔵関駅周辺地域）の2地域について検討を開始した。氷川台ルートの再編については、平成22年度より検討開始の予定である。

#### 1.1 検討地域

##### (1) 南大泉地域（⇒平成21年6月25日より検討開始）

- ・ 検討内容：コミュニティバス路線の新規導入
- ・ 対象地域：南大泉1～4丁目・東大泉7丁目周辺
- ・ 居住者のニーズの高い保谷駅と当該地域を結ぶ新規コミュニティバス路線導入により公共交通空白地域の改善を図る。

##### (2) 関町ルートの再編（⇒平成22年3月26日より検討開始）

現在、運行経費から運賃収入を差引いた負担割合が高いため、利用の少ない区間の再考や、周辺の公共交通空白地域を経由した運行ルートへの変更について検討する。

##### (3) 氷川台ルートの再編（⇒平成22年度に検討開始予定）

運行ルート等を見直しを図るとともに、バス事業者による運行が不可能な場合に乗合タクシーの導入を検討する。

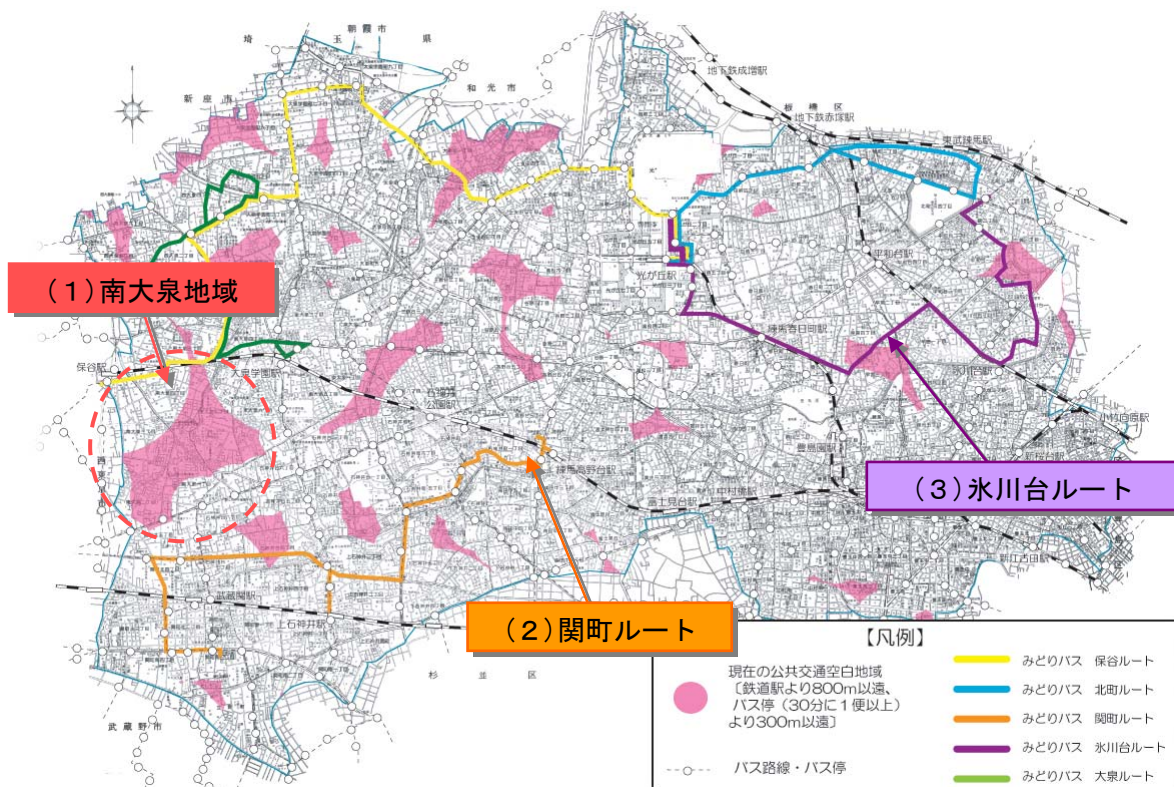
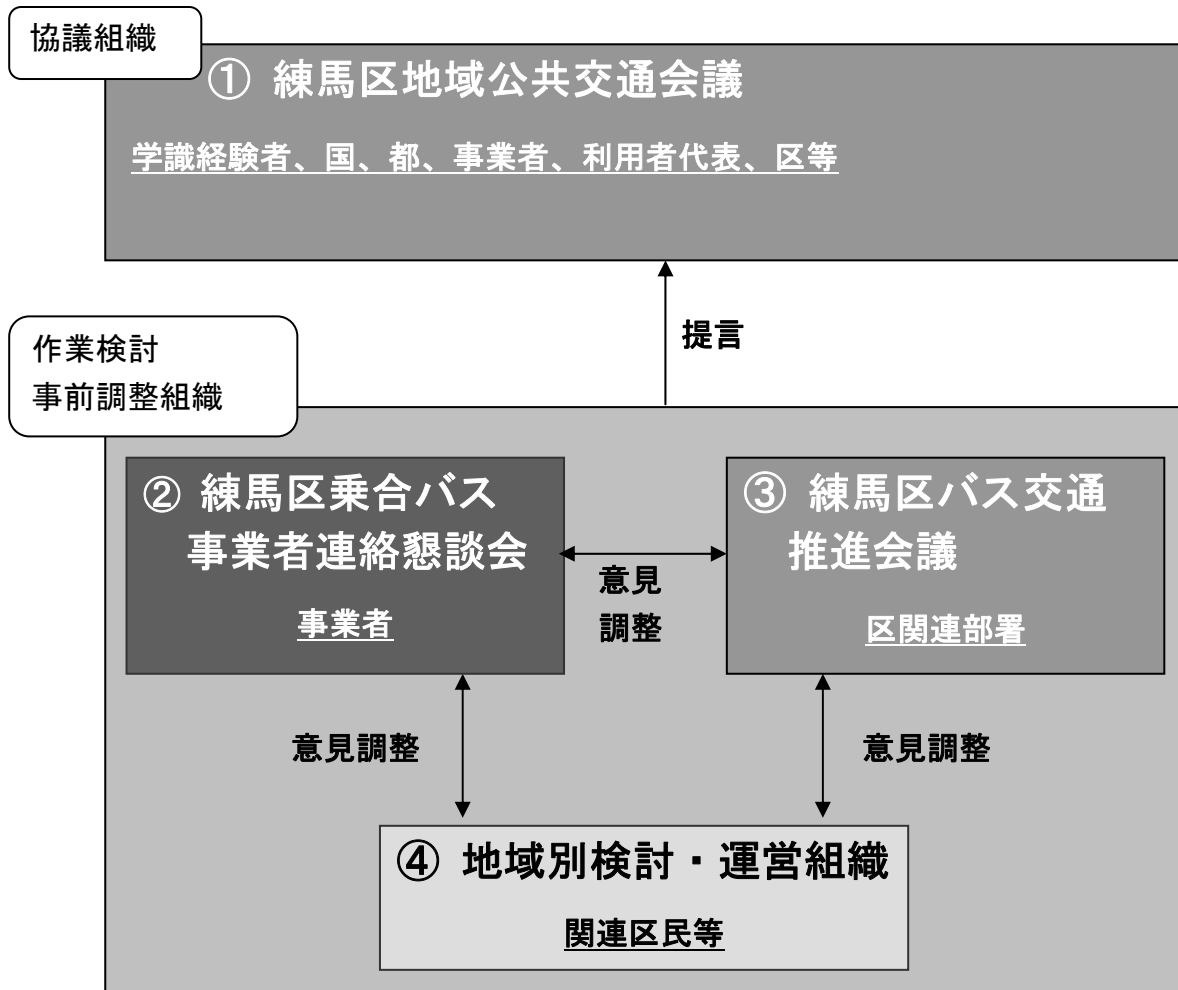


図 1-1 今年度の検討予定地域・ルート

## 1.2 公共交通空白地域の改善に向けた検討体制と交通会議の位置づけ



### 【各組織の役割】

#### ① 練馬区地域公共交通会議

練馬区における公共交通空白地域改善をはじめとした、公共交通に関わる諸問題への対策について、関係機関を交えて協議する組織。

#### ② 練馬区乗合バス事業者連絡懇談会（バス懇談会）

区内のバス交通体系や自治体と民間バス事業者との協力関係の有り方を検討する組織。

#### ③ 練馬区バス交通推進会議（バス推進会議）

公共交通空白地域の改善に向けた、区内関係部署との連絡調整・検討をする組織。

#### ④ 地域別検討・運営組織

コミュニティバス等の計画等に、地域の意見を反映するための検討・運営をする組織。

※②③④は、コミュニティバスの運行計画の検討において意見の調整を図るとともに、その内容を①へ提言する（設置要綱7条2を参照）。

## 2. コミュニティバスの運行実績の紹介（参考）

### 2.1 運行実績

#### ●平成 20 年度の実績（路線別比較）

	運行日数	利用人数	1日あたりの利用人数	1便あたりの利用人数
保谷ルート	359 日	207,065 人	577 人	22 人
北町ルート		140,383 人	391 人	28 人
関町ルート		76,611 人	213 人	9 人
氷川台ルート		109,503 人	305 人	12 人
大泉ルート		188,837 人	526 人	21 人

※ 北町ルートおよび大泉ルートは、循環路線。

#### ●路線別の経年変化

##### 保谷ルート

	運行日数	利用人数	1日あたりの利用人数	1便あたりの利用人数
平成 20 年度	359 日	207,065 人	577 人	22 人
平成 19 年度	360 日	201,092 人	559 人	22 人
平成 18 年度	359 日	192,381 人	536 人	21 人
平成 17 年度	359 日	181,825 人	506 人	20 人
平成 16 年度	359 日	161,519 人	450 人	17 人

##### 北町ルート

	運行日数	利用人数	1日あたりの利用人数	1便あたりの利用人数
平成 20 年度	359 日	140,383 人	391 人	28 人
平成 19 年度	360 日	134,547 人	374 人	27 人
平成 18 年度	359 日	125,491 人	350 人	25 人
平成 17 年度	359 日	113,014 人	315 人	26 人
平成 16 年度	359 日	103,346 人	288 人	24 人

##### 関町ルート

	運行日数	利用人数	1日あたりの利用人数	1便あたりの利用人数
平成 20 年度	359 日	76,611 人	213 人	9 人
平成 19 年度	360 日	56,646 人	157 人	7 人

### 氷川台ルート

	運行日数	利用人数	1日あたりの利用人数	1便あたりの利用人数
平成20年度	359日	109,503人	305人	12人
平成19年度	360日	79,654人	221人	10人

### 大泉ルート

	運行日数	利用人数	1日あたりの利用人数	1便あたりの利用人数
平成20年度	359日	188,837人	526人	21人
平成19年度	85日	38,054人	448人	18人

## 2.2 平成20年度運行経費負担額

単位：千円

	運行経費		区負担額		負担割合	
	(A)	(B)	(A)	(B)	(B) / (A)	(B) / (A)
保谷ルート	42,340	(35,883)	16,171	(9,654)	38.2%	(26.9%)
北町ルート	19,978	(19,359)	4,484	(3,865)	22.4%	(20.0%)
関町ルート	45,377	(35,233)	34,456	(24,312)	75.9%	(69.0%)
氷川台ルート	49,046	(38,429)	36,005	(25,387)	73.4%	(66.1%)
大泉ルート	45,315	(35,329)	26,162	(16,177)	57.7%	(45.8%)
合計	202,056	(164,233)	117,278	(79,395)	58.0%	(48.3%)

※ ( ) 内は、総運行経費から投資的経費を差引いたランニングコスト



### 2.3 公共交通空白地区およびコミュニティバス路線

